

薬の上手な飲ませ方



若小牧市民薬局

散剤（粉薬）は、通常、服用直前に少量の水や湯ざましを加えて混ぜ、スプーンやスポイトで口の中に入れ、その後、水、湯ざましなどを飲ませます。話しかけて飲ませ、上手に飲めたら、ほめてあげるとよいでしょう。



一口メモ

赤ちゃんは、くすりの「苦味」「におい」「ざらつき」等が原因でくすりを嫌がることがあります。最近では味やにおいを工夫して飲みやすくしている小児用製剤もありますが、どうしても飲まない場合には、次のような方法が考えられます。個々のお薬に適した方法は薬剤師に相談してください。

●指を使って飲ませる方法

- ①お薬にお水を数滴加えてペースト状にします。
- ②きれいに洗った指で、頬の裏側か上あごに手早く塗ってください。

舌先は苦味を強く感じるので避けましょう。

● スポイトを使って飲ませる方法

① お薬に少量の水を加えてシロップ状にします。

② スポイトに吸い取って、口の脇から頬の内側に流し込むように注入します。

● 乳首を使って飲ませる方法

① お薬に少量の水を加えてシロップ状にします。

② なるべく普段使っていない哺乳瓶の乳首をくわえさせ、お薬を注ぎ吸わせます。

※ いずれの場合もお薬を飲ませた後は、すぐにお水を飲ませてください。

● くすりの味を隠すため、赤ちゃんが好む飲食物の少量に混ぜて一緒に飲ませます。

● 冷たいと味覚が鈍るため、アイスクリームやシャーベットなどに包み込むようにして飲ませます。

- 最近、薬局などでは、服用を補助するゼリー状の商品が販売されています。これに薬を包んで飲ませます。



※味については「散剤飲み合わせ」の表参照

なお、赤ちゃんはお腹がいっぱいときは、なかなかくすりを飲んでくれませんし、ぐっすり眠っていることも多く、くすりをいつ服用させるか、迷うこともあるでしょう。そのような時の対処方法も医師または薬剤師に確認しておきましょう。

< 飲食物に混ぜて飲ませる時の注意点 >

- ✓ ミルクやおかゆなど主食に混ぜることは避けてください。くすりの味のせいで主食が嫌いになっては困るからです。
- ✓ 酸性度の強い飲食物(オレンジジュース、スポーツドリンク、乳酸菌飲料、ヨーグルト等)に混ぜることは避けてください。くすりのコーティングがはがれ、苦味が出たり、効果が弱くなるおくすりもあります。

そんな時は、アイスクリーム、プリン、コンデンスミルク、お砂糖、ココアパウダーを混ぜると飲みやすくなります。

混ぜるときは？

● アイスクリームや練乳の場合

ペースト状の練ったお薬をアイスクリームで包んだり、コンデンスミルクにからめたりすると飲ませやすくなる。

● 粉状の食品の場合

お薬と食品を良く混ぜ、お水を数滴加えてペースト状にして食べさせてあげる。

- ✓ くすりを飲食物に混ぜたまま長時間放置すると苦味が増したり、変質したりすることがありますので、飲ませる直前に混ぜてください。
- ✓ 1歳未満の赤ちゃんに飲ませる時は、はちみつに混ぜないでください。はちみつには乳児ボツリヌス症(注)の原因となる菌が含まれている可能性があるからです。

(注)乳児ボツリヌス症とは、ボツリヌス菌による食中毒とは

違い、ボツリヌス菌芽胞を摂取し、これが腸管で発芽、

増殖して産生された毒素により発症するものです。最

初は便秘となり、哺乳力低下、泣き声が小さくなる、身

体の力が抜け手足がぐにゃぐにゃしたようになります。

年長児や大人では、このようなことはおこりません

- ✓ 熱いスープや食べ物に混ぜると、くすりの品質が損なわれることがありますので、避けましょう。



Photo : kimura

参照 : 医薬品医療機器総合機構ホームページより